

としよかんだより

【下條村立図書館 155号 2021年11月1日発行】

「この間まで半袖だったのに、いきなり冬みたいになっちゃって！寒いなあ、かぜひいちゃうわ」…がいさつがわり。いよいよ本格的な秋の到来です。図書館のまわりの生け垣に植えられたサザンカが、咲き始めました。白やピンクの美しい花が、冬の終わりまで咲いては散る季節。「さざんか」は、真冬の厳しい寒さの中でも美しく咲く花…『下條村婦人会誌』の名前(タイトル)でもあります(所蔵有)。

みんなの家下條 「小さな図書館」

みんなの家下條(北又)の玄関の扉を開けると、入って右側の本棚「小さな図書館」には、本がまばらに並んでいます。前畠修史(まえはたしゅうし)さん(南信地域センター長)が、月に一回村図書館から選び、借りていく50冊がいつもここに並びますが…今あるのはこれだけ、他は全部貸出中です。なんと貸出率約70%！施設利用者さんやご家族、仕事で出入りする方や職員のみなさんら、だれかがいつも借りていくので棚には少しか



「小さな図書館」。手作りのぬいぐるみや図書館イベントチラシも置かれる。

残っていないのです。

今日もデイサービスに12人の利用者さんが集まり、楽しそうな声が聞こえます。奥からケアマネージャーの井澤佐貴子さんと林めぐみさんが迎えてくださり、今日施設を利用されている宮島香(かおり)さん(相田・明島屋・93歳)と、熊谷愛子さん(休戸・92歳)から、お話を伺いました。

宮島さんは、みんなの家に通い始めて4年目。「小さな図書館」で、『読書力』 斎藤孝著/大活字文庫を借りて読んだところ、「本を読むと何がどんなふうによいかよくわかった」そうです。「うちは百姓だもんで昼間は外だら。今は眼が悪くなったし、なかなか読めんけど…瀬戸内寂聴さんの本もおもしろい。最初のころに書いた本と、このごろ書いた本じゃ書き方も感じも全然違うのには驚いたなあ」と教えてくれました。



前列左から宮島香さん、熊谷愛子さん。後列左から職員の前畠修史さん、林めぐみさん。

「女学校(下條実科中等・高等学校)時代、毎朝先生(保寿寺のお坊さん)に教わって般若心経を唱えたもんで、全部覚えとるけど意味が分からんって言ったら、前畠さんが10枚の紙に意味を書いてくれたんな。3回ぐらい読んだらようやく意味がわかってきたなあ」と宮島さん。寂聴さんの書いた『般若心経』の本もおすすめだそうです。

次ページに続く

【もくじ】

- 1p みんなの家小さな図書館
- 2p 本を借りるには？
- 3p 新図書館長あいさつ
- 4p 新刊ぴっくあっぴ



現在、お化けカボチャ目方当てコンテストを実施中です！

熊谷愛子さんは、今年阿南町から下條村へ移住され、みんなの家に通うようになりました。以前は、ずっとお仕事を続けてこられたので、読書の習慣はなかったようですが、ここでは週2回の利用日に1冊ずつ借り、20冊の本を読みました(6~10月)。『何がおかしい』佐藤愛子著、『老いる意味』森村誠一著、『育てたように子は育つ』佐々木正美著、『ライオンのおやつ』小川糸著、『素敵な日本人』東野圭吾著、『養老先生、病院へ行く』養老孟司著…等おもしろい本ばかり！ジャンルは推理小説から純文学、人生訓、実用書もあり、家に娘さんが買ってきてくれる本も、何回

か読むそうで、たいへんな読書家ぶりが伺えます。「どんな本を読んでも、なるほど、こんなふうになればいいんだと思うことばかり」と熊谷さん。

お二人が御年90歳を超えてもお元気なわけがわかりました。お互いに相手の話を聞き、うなずきあい、感心しあい、またお話されるお二人を見ると、まさにこれぞ共感力！！読書が育てる思いやりの心…みんなの家下條に流れるあたたかい空気につながるようでした。

みんなの家下條は、「かがやきなごの長野県高齢者生活協同組合」で運営する小規模多機能型居宅介護事業所です。働いている職員さんは16人、利用者さんは29人です。「小さな図書館」で今年4月から10月27日までの間に114人が170冊の本を利用しています。(管理者:熊谷千恵子さんより)

図書館で本を借りるには、どうする？

①利用者カードを作ります

やDVD

*申込書に住所・電話番号等ご記入いただくと、すぐに利用者カードを発行できます

Q.カードを以前つくったけれど、なくしてしまった場合は？

A.カウンターで電話番号を伝えていただければ貸出できます。(登録情報があれば借りられます)

Q.カードを再発行した方がいい？

A.再発行もできます(200円)が、電話番号で借りていただいても大丈夫です😊

②借りたい本を選んだら、カウンターで貸出手続きをします

*借りたい本などと一緒に、利用者カードをお出しいただくか、電話番号をお伝えください。

1人につき、本(雑誌、紙芝居含む)は10冊(期限:2週間)、

DVDやCDは1本(期限:1週間)まで借りることができます。

③期限までに返せないときは？

お電話や口頭で、期限を延長できます(本は2週間、DVD等は1週間)

④ずっと返し忘れてしまったら？

2カ月以上ご返却がない場合は、督促のはがきが届きます。

⑤人気の本(ベストセラー・受賞作など)は借りることができる？

貸出中の本は予約、まだ入っていない本は、リクエストができます。

カウンターで「予約・リクエストカード」に本のタイトルやお名前・電話番号を記入し、お出しください。

ご用意ができれば、ご連絡いたします。



村の図書館は、村民のみなさんの税金からつくられています。当館では、できるだけ多くのみなさんに利用していただくよう工夫をしています。ぜひお気軽に、ご利用ください(^▽^)/

新図書館長あいさつ



本年4月より教育長を拝命し、図書館長を務めています吉村善郎と申します。

平成7年の開館以来、多くの方に愛着を持ってご利用いただき感謝申し上げます。

さて、本職に就いて驚いたことがあります。蔵書が94,000冊を超え、全村民の皆さんが一斉に25冊の本を借りることが可能な冊数を備えていることです。貸出数も県下トップクラスを推移していますが、昨年図書館を利用された方は、全村民の約2割にとどまっています。インターネットを使って欲しい本が手軽に手に入る今日ですが、図書館はまるで本の森、散策すれば人生をより豊かにする1冊に出会えるかもしれません。

多くの皆さんにご利用いただけますよう、そして利用してくださる皆様の生活がより豊かになりますよう、職員一丸となって努めてまいりますので、ぜひ図書館へお出かけください。

読書月間のお知らせ

期間は11月13日(土)~12月12日(日)の1か月間。村の図書館では、おたのしみ会などのさまざまなイベントや、古本市、企画展などを開催します。また小学校・中学校でも、期間中読書旬間を開催しています。

古本市(3回に分けて開催)

- 1回目 11月13日(土)10:00
 - 2回目 11月20日(土)10:00
 - 3回目 11月27日(土)10:00
- 古くなった本や雑誌、ビデオなどを、ロビーに上記の3回に分けて出します。どうぞご自由にお持ちください。

読書月間おたのしみ会参加者募集

- ①11月13日(土)14:00
「お気に入りの本に透明フィルムをかけよう」 限定10人
- ②11月14日(日)13:00 秋の自然遊び
「秋のいろどりまんだらを作ろう」
講師:四方圭一郎学芸員 限定20人
- ③12月11日(土)10:00~17:00
「本を借りたら包丁研ぎサービス」
研ぐ人:堀尾伸夫さん(小松原)
- ④12月12日(日)13:30「本日開店!
シネマカフェ」 講師:細田剛さん(合上)

「雑誌の付録プレゼント」「図書館講演会色紙展」の開催、十一月十五日には、「読書月間おすすめ本リスト&新刊カタログ」を発行します。

新着DVDのお知らせ

洋画(一般)「ノマドランド」「スキヤンダル」「スパイダーマン ファー・フロム・ホーム」「ジュマンジネクストレベル」「ダラス・バイヤーズクラブ」「リンドグレーン」「ブックスマート卒業前夜のパーティーデビュー」「ワンダーウーマン」「ワンダーウーマン 1984」「コンテイジョン」「82年生まれ、キム・ジョン」「燃ゆる女の肖像」

洋画(児童)「ペット2」「リメンバー・ミー」「2文の1の魔法」「魔女がいっぱい」「ピーターラビット2 バーナバスの誘惑」「アダムスファミリー」

邦画(一般)「朝が来る」「海辺の映画館 キネマの玉手箱」「小さいうち」「蜜蜂と遠雷」「アルプススタンドのはしの方」「461個のおべんとう」「みをつくし料理帖」「この世界のさらにいくつもの片隅に」「三島由紀夫 VS 東大全共闘 50年目の真実」

福祉バスの特別運行

福祉バスが、期間中直接図書館まで送迎してくれます。「図書館へお願いします」と運転手さんにお伝えください(^▽^)

新刊 ぴっくあっぷ



「ミカエルの鼓動」 柚月裕子 著 文藝春秋／手術支援ロボット「ミカエル」を推進する心臓外科医・西條と、ドイツ帰りの天才医師・真木。難病の少年の治療をめぐる対立する2人。そんな中、西條を慕っていた若手医師が自ら命を絶ち…。*Fユ



「月曜日の抹茶カフェ」 青山美智子 著 宝島社／川治いの桜並木のそばに佇む喫茶店「マーブル・カフェ」が、定休日の月曜日に、一度だけ「抹茶カフェ」を開くことに…。一杯の抹茶から始まる、東京と京都をつなぐ12カ月の心癒されるストーリー。*Fア



「倒産続きの彼女の彼女」 新川帆立 著 宝島社／婚活に励む弁護士・玉子と、高飛車な弁護士・麗子は、「会社を倒産に導く」と内部通報されたゴースト商會経理課・近藤まりあの身辺調査を行うことに。調査を進めるなか、リストラ報告用の「首切り部屋」で死体を発見し…。*Fア



「嫌われた監督 落合博満は中日をどう変えたのか」 鈴木忠平 著 文藝春秋／中日監督時代の8年間、落合博満は勝ち続けながらもなぜ嫌われたのか。異端の将の影響で人生を激変させた12人の男たちの目を通して綴られる、実像と中日ドラゴンズ変貌の記録。*Fオ



「世界を変える100の技術 2030年を予測」 日経BPマーケティング／カーボンサイクル、代替燃料、AI医療、転んだときだけ柔らかくなる床…。日経BPの専門誌編集長・ラボ所長50人が、今後ビジネスに大きなインパクトを与えるテクノロジーを100件選び、わかりやすく解説。*504セ



「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2」 プレイディみかこ 著 新潮社／授業でのスタートアップ実習、助け合ってきた隣人との別れ、そして母の国での祖父母との旅。中学生の「ぼく」は「事件」続きの暮らしの中で、大人へのらせん階段を昇っていく。親子の成長物語、完結。*376フ



「1秒で心をつかめ。一瞬で人を動かし100%好かれる声・表情・話し方」 魚住りえ 著 SBクリエイティブ／出会い頭、会話の最中、別れ際。ほんの1秒で伝わる何かが、人の印象をつくる。コミュニケーションのあいだに生じる「特別な1秒」に焦点を当て、好印象を残す方法を49の法則にして伝える。*809ウ



「進め！僕の姉ちゃん」 益田ミリ 著 マガジンハウス／「好きって気持ちを悟られたら負けて恋はなんのためにあるのか」って入試問題どお？ アラサーOLと、新米サラリーマンの弟。＜恋と人生＞のホンネが満載のコミック。*726マ



「1日1分名作・名曲で健康音読 脳を活性化！」 塩田久嗣 監修 池田書店／脳と心、体が若返る音読を、楽しみながら毎日の習慣に！1分前後で音読できる「名作」「童話」「童謡・唱歌」「歌謡曲」を収録。各作品に難易度や解説、音読の効果高めるポイントを掲載。*809イ



「疲れないカラダ大図鑑」 夏島隆 著 アスコム／10時間立ち続けても、8時間座り続けても、重い資料を持ち続けても、疲れない！日本人の骨格や筋肉の構造を考慮した、疲れない姿勢・動作と、疲れたカラダを回復させるための食事法や入浴法などを紹介する。*498ナ



「プロのコツでいつものごはんが100倍おいしくなるレシピ」 こうせい校長 著／野菜炒めに親子丼、ハルカチリ…。身近な家庭料理のレシピと100倍おいしくなるプロのコツを見開きで紹介。人気定番料理からデザートまで78品を収録する他、差がつく準備・下処理も掲載。*596コ



「少ない玉数でかんたん！1〜3日で編める大人の手編みこもの 一部の作品を写真解説！」 ブティック社／1日で編めるミニマフラーと帽子、2〜3日で編めるスヌードやストールなど、少ない玉数でできる、大人に似合うおしゃれな手編みこもの50点を紹介する。*594ス